

身近な川の生物調査を実施

府では、身近な水環境への関心を高め、主体的な環境保全の取り組みを広げるため、「身近な川の生物調査」を府内一円で実施しています。

カゲロウやサワガニ等の水質の指標となる水生生物を調査し、水質（階級Ⅰ～Ⅳ）を判断するもので、初めての方でも取り組みやすい調査となっております。

調査期間は6月～9月（申込は6月～8月）としており、小学生以上の府民3名以上のグループであれば誰でも参加できます。

参加者全員に代表的な指標生物が掲載されている下敷きを配布させていただくほか、希望者には府職員による調査のお手伝いや調査器具の貸し出しを実施しております。

例年、小学校や中学校のほか、夏休みの自由研究として個人の方々にも多くの御参加をいただいております。平成30年度は45団体1,324名に御参加いただき、38河川70地点で調査を行いました。

平成30年度の調査結果は、水質階級Ⅰ（きれいな水）42地点、Ⅱ（ややきれいな水）22地点、Ⅲ（きたない水）3地点、Ⅳ（とてもきたない水）2地点、不明（指標生物なし）1地点でした。

参加者からは「いろいろな生き物がいた」「川を大切にしていきたい」等の感想が聞かれました。多くの方々に御参加いただけるよう、引き続き募集に取り組んでいきます。



調査河川の一例

安全のため、流れが緩やかで水深が浅い箇所で行います。



調査器具及び使用例一例

下流に網を構え、その少し上流の川底を足でごしごしかき混ぜ、流れてくる生物をわき上がる泥と一緒に網で捕まえます。